

(公社) 全国鉄筋工事業協会
平成24年 6月22日初稿
平成25年 8月26日訂正

1. 標準見積書作成の主旨

(1) 施工範囲の確認

平成13年に建設生産システム合理化推進協議会にて作成された「総合工事業者・専門工事業者間における工事見積条件の明確化について」(施工条件・範囲リスト)に基づいて鉄筋工事の施工範囲を明確にし、自社の施工範囲で付帯工事に当たるものは見積書に反映させる。

(2) 工事毎の施工難易度を算出

全鉄筋が平成9年に作成し、平成11年改定した「鉄筋工事部位別歩掛表」「同調整表」に基づき、まず、地域、団体等で標準歩掛の見直しを行い(修正歩掛)、その上で、工事毎に図面を精査して施工難易度を確認し、総合予定歩掛を算出する。

(3) 原価要素毎に人件費の洗い出し

社会保険料事業主負担分を見積書に明示するため、取付、加工、運搬、付帯工事共に人件費と経費の区別を明確にする。

2. 標準見積書作成手順

Step 1. 「見積時・着工時打合せ事項」(別紙：1)の確認

- ① 工期は、鉄筋工事の工期を明記する
- ② 材料については、材質、メーカ等が設計図書と一致しているか確認する
- ③ 作業条件(作業時間の規制、搬入規制、近隣関係等)の確認

Step 2. 「鉄筋工事施工条件・範囲リスト」(別紙：2、6)の確認

- ① 各項目毎に自社施工と、元請施工に分けて該当欄にチェックを入れる
- ② 加工図、自主検査、コンクリート打設立会等は頻度、回数等を明記する(別紙：2)
- ③ 加工、取付、運搬、スペーサーブロック以外に自社で施工する物があれば見積書の「付帯工事明細書」(別紙：6)に記載例に習い明細を記載する
- ④ 「付帯工事明細書」で適切な割合で人件費を洗い出す
- ⑤ 「合計金額」と「人件費合計」が見積書に転記される

Step 3. 「鉄筋工事部位別歩掛表」「同調整表」(別紙：3、4)の検討

- ① 部位別数量の集計記入・・・電算システム集計等との整合を図り、修正をする
- ② 部位別数量の記入・・・kg数量で記入、不足する部位名は下欄に追加する
- ③ 標準歩掛の検討・・・全鉄筋の標準歩掛を検討し「補正歩掛」欄に記入する
「補正歩掛」が「難易度」の計算対象となっているので必ず記入する
- ④ 歩掛調整表の検討・・・実際の図面を見ながら項目毎に該当欄にチェックする
チェックボックスは±共、10%、20%の二段階が有り、どちらかを選択する
- ⑤ 各部位毎の調整%の集計・・・各部位毎に調整比率を集計して歩掛表に転記される
- ⑥ 部位別歩掛表の完成・・・総合予定歩掛が見積書の組立予定歩掛に転記される

Step 4. 「加工費の歩掛計算書」(別紙：5、25年8月2日改訂)の検討

この表は「建設省建築工事積算基準」(平成9年度版)による

- ① 太径・細径の比率判定・・・カットサイズ集計表(参考資料)から数量を集計し、太径、細径共にKgで記入する(細径とはD10、D13、D16を言う)
- ② 建設省の基準歩掛を検討し「補正歩掛」欄に記入する
- ③ 当該工事の加工歩掛が標準見積の加工人件費の「加工費歩掛」欄に転記される
- ④ 工場経費は各社によってバラツキが大きいので、表の範囲内で選択する

Step 5. 単価等の入力

見積書用紙の基礎日額、単価を入力する

- ① 組立人件費の基礎日額の入力・・・国土交通省が公表する「公共工事設計労務単価」を参考に基礎日額を決定する(社会保険料本人負担分を含む)
- ② スペーサーブロック単価の入力・・・素材等により単価を決定する
- ③ 加工人件費の基礎日額の入力・・・各社の工場従業員の平均日額で決定する
- ④ 運搬費単価の入力・・・現場車両規制により大型車、中型車、小型車別で決定する
- ⑤ 運搬費の人件費、諸経費の判定・・・各社の状況に応じ割合を判定し人件費を算出する

Step 6. 経費の検討(経費等の内訳表 別紙：7、8)を参考に、経費率を決定する

自社の実情にあった経費率を、下記項目毎に決定し、見積書の該当欄に入力する

- ① 組立現場経費(結束線、交通費等)の検討・・・(別紙：7、8)
- ② 組立現場管理費(加工帳作成、配筋検査、安全管理費等)の検討・・・(別紙：7、8)
- ③ 組立経費の計算例(別紙：8)の「取付人件費」「取付単価」は、それぞれ見積書の組立人件費と組立単価から転記されている
- ④ 工場経費(加工場に関する費用で人件費以外のもの)の検討・・・(別紙：5)
- ⑤ 一般管理費(事務所経費、借入利息、利益等で各社で判断する)の検討
- ⑥ 値引き欄の入力・・・値引きする端数を ^{マイナス} 数字で入力すると ▲ 表示される

Step 7. 社会保険料の確認

- ① 社会保険料事業主負担分の対象人件費の確認・・・本見積書の下記合計を確認する
組立人件費 + 加工人件費 + 車両人件費 + 付帯工事人件費
- ② 社会保険加入率の検討・・・国土交通省の指導により、当面は未加入者全員の加入に必要な金額とする(100%)
- ③ 保険料率の確認・・・保険料率は全国统一とし、国土交通省が毎年度一定に時期に確認して公表する

Step 8. 標準見積書の完成

- ① 消費税率の入力・・・国土交通省の指導により、社会保険料事業主負担分を含めた全工事費を対象とした
- ② 各欄の区分は、凡例を参考に下記3区分を把握する
 - * 「黄色」 他表からリンクする数値
 - * 「緑色」 計算式が予め入力されている数値
 - * 「ピンク色」 自ら入力する数値
- ③ 各セル毎の計算式を確認する(セルにポインターを重ねるとコメントが表示される)
- ④ 1 t 当たりの単価(税、保険料別)の妥当性を検討する
- ⑤ 凡例、トン当たりの単価、税、保険料込みの単価の欄は参考資料ですので、提出用の見積書から切り離してください(印刷範囲から外して印刷する)

3. CD版ご使用の注意点

- (1) この様式は「Excel 97～2003」で作成しております
- (2) 凡例で示すように入力欄が「他表からリンク」、「計算式挿入」、「手入力」の3通りに分類されておりますのでご注意ください。
- (3) 見積書作成に当たっては、「事例集」と別ファイルの「鉄筋工事標準見積書解説」(PDF)を参考にして「様式集」を使って作成してください
- (4) 主要なセル(枠)にはコメント(解説)を入れてありますので参考になさってください

4. 標準見積書作成の経緯

- (1) 全鉄筋理事会決議により「**試作品**」を作成し、全国支部に1部配布した
(平成24年11月30日)
- (2) 主職5団体申し合わせにより、消費税を保険料込みの工事費合計に掛けることとした
(平成25年 3月28日)
- (3) 従前のファイル別掲載を、シート別掲載に変更した CD Ver. 2
(平成25年 3月29日)
- (4) 平成25年度公共工事設計労務単価を添付した CD Ver. 2-2
(平成25年 4月 2日)
- (5) 「鉄筋組立経費計算例」を添付した CD Ver. 2-3
(平成25年 4月19日)
- (6) 国土交通省の「標準見積書見直し基準」に従って、
ブラッシュアップして国土交通省に登録のために申請した 登録申請用 CD作成
東京地区講習会(東鉄協、鉄工協、関東青年部会)用に同CDを使用した
(平成25年 6月25日)
- (7) 上記講習会での意見を取り入れて下記の訂正を行った (平成25年 7月11日)
 - ① 「見積書」の社会保険料対象人件費欄に ※ 印を付けた。
 - ② 「経費計算例」の一部を他表とリンクさせた(黄色部分)
 - ③ 「加工費・取付費の割合表」の鉄筋組立表を廃止し、「歩掛表」の予定人工合計とリンクさせた。
- (8) 国土交通省とのヒヤリングが終了し下記の指摘事項を修正した(平成25年7月25日)
 - ④ 社会保険料事業主負担分料率を変更した(健康保険、介護保険)
- (9) 「鉄筋材料費」(別紙:9)を追加した (平成25年7月27日)
- (10) 平成25年7月31日、8月1日開催「指導員のための標準見積書研修会」での
指摘事項をもとに、下記の改訂を行った
 - ① 従来の「加工費と取付費の割合表」を破棄して、新しく「加工費歩掛計算書」とした
 - ② 経費の計算例で、組立現場費の計算式を改訂した
 - ③ 「加工条件・範囲リスト」をチェックボックスにした
 - ④ 「歩掛調整表」に、注4、注5、を追加した
- (11) 「社会保険未加入対策推進協議会」より介護保険加入率(52.3%)の
指示があったので、採用し保険料加入率の変更をした (平成25年8月7日)

以 上

お 見 積 書

平成25年8月26日

0

殿

東京都台東区浅草橋3-17-10

***** 鉄筋工業株式会社

TEL ***-****-****

FAX ***-****-****

下記の通りお見積もり申し上げます

お見積金額		#DIV/0!					
工事名称	0						
工事場所	0						
工事期間							
支払条件	工事基本契約書による						
施工条件・範囲	別紙「鉄筋工事施工条件・範囲リスト」による						
項 目	適 要			数 量	単 位	単 価	金 額
鉄筋材料費		別紙明細書の通り					0
鉄筋組立費	組立人件費	取付予定歩掛	基礎日額	0.000	t	#DIV/0!	#DIV/0! ※
		#DIV/0! Kg/人					
	組立現場経費	組立作業に係る直接経費					#DIV/0!
	現場管理費	現場に係わる管理費					#DIV/0!
	スペーサーブロック	材料込み(金物は除く)		0.000	t	1,500	0
鉄筋組立費小計							#DIV/0!
鉄筋加工費	加工人件費	加工予定歩掛	基礎日額	0.000	t	#DIV/0!	#DIV/0! ※
		#DIV/0! Kg/人					
	工場経費	加工場に係る直接経費					#DIV/0!
鉄筋加工費小計							#DIV/0!
運搬費	運搬人件費	車両人件費	単価(t)	0.000	t	0	0 ※
	運搬経費	車両諸経費				0	0
鉄筋運搬費小計							0
その他の付帯工事	別紙明細書の通り		(その内人件費 ※ 0)			0	0
工事原価合計							#DIV/0!
一般管理費	原価合計に係る販管費						#DIV/0!
小 計							#DIV/0!
値 引 き							
再 小 計							#DIV/0!
社会保険料 事業主負担分	保険項目	加入率	対象金額(人件費) ※	百分率	保険料		※対象金額(人件費) =組立人件費+加工 人件費+運搬人件費 +付帯工事人件費 * 介護保険対象の 40才~64才の割合は 52.3%(協会健保年報)
	雇用保険	100%	#DIV/0!	1.050	#DIV/0!		
	健康保険	100%	#DIV/0!	4.985	#DIV/0!		
	厚生年金	100%	#DIV/0!	8.533	#DIV/0!		
	介護保険	52.3%	#DIV/0!	0.775	#DIV/0!		
社会保険料事業主負担合計							#DIV/0!
工 事 費 合 計							#DIV/0!
消 費 税	工事合計に対して						#DIV/0!
合 計							#DIV/0!
摘要							

別紙: 1

見積時・着工時打合せ事項

整 理 番 号		記入年月日		年 月 日		
1 得 意 先						
2 工 事 概 要	工事名					
		住 所	電話番号	FAX番号		
	現場所在地		()	()		
	事務所所在地		()	()		
	担 当 者	所長	主任	担当者		
	設 計 監 理					
	仕 様	共通仕様書 ・ 設計事務所 ・ その他()				
構造・規模	R C ・ S R C ・ S ・ 壁式 造 , 地下 F , 地上 F 建て					
	棟	建築面積	m ²	建築延面積	m ²	
		(建築延面積当たりの鉄筋量 kg/m ²)				
3 工 法		在来工法・特殊工法()				
4 鉄 筋 工 期		着 工 日		完 成 予 定 日		
		平成 年 月 日		平成 年 月 日		
5 材 料	材 料 手 配	材料共 ・ 支給材				
	材質 ・ メーカー	鉄筋の材質と鉄筋経		メーカー指定		
		SD295 A ~		有() ・ 無		
		SD345 ~		有() ・ 無		
		SD390 ~		有() ・ 無		
		~		有() ・ 無		
6 作 業 条 件	休 日	日曜 ・ 祭日 ・ 土曜() ・ その他()				
	作 業 時 間	AM ~ PM ・ 朝礼 ・ 打合せ				
	通 勤 規 制	通勤車両時間 ・ 駐車場				
	搬 入 規 制	時間 ・ 経路 ・ 交通規制 ・ 車両制限				
	作業員詰所	有() ・ 無				
7 提 出 書 類	項 目	元 請	自 社	詳 細		
	安全衛生関係書類					
	施 工 要 領 書					
	鉄 筋 加 工 図					
	鋼 材 検 査 証					
	メタルタグ・納品書					
8 仮 設 計 画	そ の 他					
	揚 重 設 備	タワークレーン ・ レッカー ・ ユニック				
	水 平 移 動	タワークレーン ・ レッカー ・ ユニック				
	基 礎 足 場	梁受け	柱受け ・	ステージ		
	一般階足場	梁受け	柱用 ・	壁用 ・	ステージ	
	鉄 骨 足 場	作業床 ・	作業通路 ・	ステージ		
9 関 連 業 者	スツクヤード					
	職 種	会 社 名		担当者	担当班	職長名
	鳶・土工事					
	型 枠 工 事					
	圧 接 工 事					
鉄 骨 工 事						

鉄筋工事 施工条件・範囲リスト

0

名 称		範 囲	
		元請	自社
主材料	1. 鉄筋材料	☐	☐
		☐	☐
補助材料	1. スペースブロック	☐	☐
	2. 床用ワイヤメッシュ筋	☐	☐
	3. 開口補強用ワイヤメッシュ筋	☐	☐
	4. スリープ補強既製品（別途見積）	☐	☐
	5. 特殊継ぎ手材料	☐	☐
	6. 仮設組立材 耐圧盤上筋受け	☐	☐
	7. 仮設組立材 基礎梁馬	☐	☐
	8. 仮設組立材 SRC梁馬	☐	☐
加工・取付	1. 鉄筋加工	☐	☐
	2. スパイラル筋加工	☐	☐
	3. 現場組立	☐	☐
	4. スペースブロック取付	☐	☐
	5. SRCスパイラル筋位置修正	☐	☐
	6. 床用ワイヤメッシュ配筋	☐	☐
	7. 開口補強用ワイヤメッシュ配筋	☐	☐
	8. スリープ補強配筋	☐	☐
	9. 鉄筋継手 圧接	☐	☐
	10. 鉄筋継手 溶接	☐	☐
	11. 鉄筋継手 機械式継手	☐	☐
	12. ダメ開口補強・配筋	☐	☐
	13. 打ち継ぎ補強配筋	☐	☐
	14. 杭頭補強配筋	☐	☐
	15. コンクリート打設中の立会い	☐	☐
	16. 差筋キャップ取付	☐	☐
	17. 設備基礎	☐	☐
	18. 外構工事	☐	☐
	19. 杭鉄筋調整	☐	☐
	20. SRC柱筋調整	☐	☐
	21. 特殊スラブ配筋	☐	☐
	22. アンボンド鋼線引込み手間	☐	☐
	23. ハーフPC梁・柱筋配筋	☐	☐
運搬	1. 荷揚(荷揚用機器への積込み、荷下ろし手間)	☐	☐
	2. 荷揚用機器(組立、解体、損料、使用料、オペレーター費用)	☐	☐
	3. 材料等の場内水平小運搬	☐	☐
	4. 材料等の現場搬入	☐	☐
	5. 支給材の工場内小運搬	☐	☐
	6. 貸与機械の有資格者の配置	☐	☐
足場	1. 鉄筋組立に使用する足場の架設	☐	☐
	2. 鉄筋組立に使用する構台の架設	☐	☐
	3. 鉄筋組立に使用する棧橋の架設	☐	☐
	4. 鉄筋組立に使用する梯子の架設	☐	☐
	5. ローリングタワー(組立、解体、移動)	☐	☐
	6. 足場等の盛替	☐	☐
	7. 高所作業車	☐	☐
墨出し		☐	☐
		☐	☐

名 称		範 囲	
		元請	自社
養生	1. 支給材の保管	☐	☐
	2. 組立完了後の養生	☐	☐
片付	1. 建設廃棄物の場外搬出 処分に係る費用	☐	☐
	2. 梱包材・発生材の 場内指定場所への集積・分別	☐	☐
	3. 足場材等支給材の指定場所へ の片付け	☐	☐
	4. 作業終業後の片付・清掃	☐	☐
機器	1. 鉄筋組立用簡易足場材	☐	☐
	2. 揚重・高所作業用機器	☐	☐
	3. 揚重玉掛け用具	☐	☐
図面・書類	1. 鉄筋加工図(範囲:)	☐	☐
	2. 施工要領書	☐	☐
見本		☐	☐
		☐	☐
検査・確認	1. 自主検査(頻度:)	☐	☐
	2. 検査立会	☐	☐
		☐	☐
安全	1. 作業保護具	☐	☐
	2. 安全バトロール	☐	☐
	3. 揚重の合図・玉掛け	☐	☐
その他	1. 作業時間(: ~ :)	☐	☐
	2. 休日作業	☐	☐
	3. 工事用電力・給水設備の使用料金	☐	☐
	4. 現場詰所・資材倉庫等仮設物	☐	☐
	5. 作業員通勤車両の駐車場使用料	☐	☐
	6. 搬入車両規制	☐	☐
	7. 必要な場合の作業員宿舎	☐	☐
別途協議・確認事項		☐	☐
		☐	☐
		☐	☐
		☐	☐
		☐	☐
		☐	☐
		☐	☐

*それぞれの項目毎に該当する欄にチェックを入れてください

鉄筋工事部位別歩掛表

(社)全国鉄筋工事業協会
平成10年2月10日作成
平成25年8月26日訂正

工事名 0

部 位 名	数 量(kg)	現 場 組 立				
		全国平均 標準歩掛(kg)	地域・会社別 補正歩掛(kg)	難易度(%)	予定歩掛(kg)	予定人工(人)
ベ ー ス		600		0	0	#DIV/0!
耐 圧 版		750		0	0	#DIV/0!
基 礎 梁		650		0	0	#DIV/0!
基 礎 柱		650		0	0	#DIV/0!
地 下 外 壁		650		0	0	#DIV/0!
一 般 柱		670		0	0	#DIV/0!
一 般 壁		500		0	0	#DIV/0!
一 般 梁		600		0	0	#DIV/0!
一般小梁		550		0	0	#DIV/0!
ス ラ ブ		550		0	0	#DIV/0!
階 段		300			0	#DIV/0!
パラペット		300			0	#DIV/0!
雑配筋		300			0	#DIV/0!
					#VALUE!	
					0	
数量合計	0					#DIV/0!
全体調整						
工期調整	0			0		#DIV/0!
工法調整	0			0		#DIV/0!
作業環境調整	0			0		#DIV/0!
その他の調整	0			0		#DIV/0!
合計						#DIV/0!

$$\text{総合予定歩掛(A)} = \frac{\text{数 量 合 計}}{\text{予定組立人工合計}} = \boxed{\#DIV/0!} \text{ kg/人}$$

この歩掛り表の数字は、現場取付費
のみで、加工費、運搬費、一般管理費等
は含まれていません。

鉄筋工事部位別歩掛調整表

(社)全国鉄筋工事業協会
平成10年2月20日作成
平成25年8月26日訂正

工事名 0

部 位	項 目	標 準	条 件 変 化	調整比率(%)				
				-20	-10	+10	+20	計
ベ ー ス	ベース形状	四角形	三角形等の変形が多い	☐	☐	☒	☒	0
	ベース立上	立上げなし	フーチング有り	☐	☐	☒	☒	0
	ベース筋径	D13・D16	D10が60%以上を占める	☐	☐	☒	☒	0
			D19以上が60%以上を占める	☒	☒	☐	☐	0
ベ ー ス 集 計						0		
耐 圧 版	耐圧版径比	D13・D16	D19,D22が60%以上を占める	☒	☒	☐	☐	0
			D25,D29が60%以上を占める	☒	☒	☐	☐	0
			D32以上が60%以上を占める	☒	☒	☐	☐	0
	耐圧版断面	ハンチなし	ハンチ(法面)が多い	☐	☐	☒	☒	0
	そ の 他		鉄骨に制約される	☐	☐	☒	☒	0
			特殊な工法()	☐	☐	☐	☐	0
耐 圧 版 集 計						0		
基 礎 梁	平面形状	ストレート	水平ハンチの梁が多い	☐	☐	☒	☒	0
			垂直ハンチの梁が多い	☐	☐	☒	☒	0
			芯ずれの梁が多い	☐	☐	☒	☒	0
	断面形状	中子なし	中子のある梁が多い	☐	☐	☒	☒	0
	梁 成	1.8m以下	梁成が1.8mを超える	☐	☐	☒	☒	0
	梁主筋径	D25	梁主筋径が D22以下	☐	☐	☒	☒	0
			〃 D29	☒	☒	☐	☐	0
			〃 D32以上	☒	☒	☐	☐	0
	スタラップ径	D13	梁スタラップ径が D10	☐	☐	☒	☒	0
			〃 D16以上	☒	☒	☐	☐	0
	スタラップ形状	閉鎖型	開放型スタラップ	☒	☒	☐	☐	0
			分割型スタラップ	☒	☒	☐	☐	0
	そ の 他		鉄骨(柱・梁)に制限される	☐	☐	☒	☒	0
			そ の 他	☐	☐	☐	☐	0
基 礎 梁 集 計						0		
柱	階 高	3.5m以下	階高が3.5mを超える	☐	☐	☒	☒	0
	断面形状	中子なし	中子のあるフープが多い	☐	☐	☒	☒	0
	平面形状	ストレート	斜め柱が全体の 20%以下	☐	☐	☒	☒	0
			〃 20%を超え	☐	☐	☒	☒	0
	柱主筋径	D25	柱主筋径が D22以下	☐	☐	☒	☒	0
			〃 D29	☒	☒	☐	☐	0
			〃 D32以上	☒	☒	☐	☐	0
	フープ形状	在来型	スパイラルフープ	☐	☐	☐	☐	0
			閉鎖(溶接)型フープ	☐	☐	☐	☐	0
	フープ径	D13	柱フープ径が D10が多い	☐	☐	☒	☒	0
			〃 D16が多い	☒	☒	☐	☐	0
	主筋継ぎ手	ガス圧接	機械式継ぎ手(ネジ・グリップ等)	☐	☐	☐	☐	0
			溶接継ぎ手	☐	☐	☐	☐	0
	そ の 他		鉄骨(柱・梁)に制約される	☐	☐	☒	☒	0
			特殊な工法の使用()	☐	☐	☐	☐	0
そ の 他			☐	☐	☐	☐	0	
柱 集 計						0		

部 位	項 目	標 準	条 件 変 化	調整比率(%)
-----	-----	-----	---------	---------

位	区	標準	不 足 点	-20	-10	+10	+20	計	
一般階梁	平面形状	ストレート	水平ハンチの梁が多い	☐	☐			0	
			垂直ハンチの梁が多い	☐	☐			0	
			芯ずれの梁が多い	☐	☐			0	
	断面形状	中子なし	中子のある梁が多い	☐	☐			0	
	梁 成	1.2m以下	梁成が1.2mを超える	☐	☐			0	
			梁主筋径が D22以下	☐	☐			0	
				〃 D29			☐	☐	0
	〃 D32以上			☐	☐	0			
		スタラップ形状	閉鎖型	在来型1本物	☐	☐	☐	☐	0
				溶接型	☐	☐	☐	☐	0
	スタラップ径	D13	梁スタラップ径で D10が多い	☐	☐			0	
			〃 D16が多い			☐	☐	0	
	主筋継ぎ手	ガス圧接	機械式継ぎ手(ネジ・グリップ等)	☐	☐	☐	☐	0	
			溶接継ぎ手	☐	☐	☐	☐	0	
			鉄骨に制約される	☐	☐			0	
			特殊な工法の使用()	☐	☐	☐	☐	0	
	そ の 他		そ の 他	☐	☐	☐	☐	0	
一 般 階 梁 集 計					0				
スラ	スラブ主筋径比	D10,D13 交互	主筋で D10 が 60%以上	☐	☐			0	
			〃 D13 が 80%以上			☐	☐	0	
			〃 D16が 60%以上			☐	☐	0	
	平面形状	四角形	変形スラブが多い	☐	☐			0	
	断面形状	ストレート	段差の有るスラブが多い	☐	☐			0	
	配筋リスト	モチアミ式	トップ式、バンド式が多い	☐	☐			0	
	設備開口補	なし	設備開口補強が多い	☐	☐			0	
	そ の 他		鉄骨に制約される	☐	☐			0	
			特殊な工法の使用()	☐	☐	☐	☐	0	
			そ の 他	☐	☐	☐	☐	0	
ス ラ ブ 集 計					0				
壁	壁 主筋径比	D10,D13 交互	主筋で D10 が 60%以上	☐	☐			0	
			〃 D13 が 80%以上			☐	☐	0	
			〃 D16 が 60%以上			☐	☐	0	
	階 高	3.5m未満	階高が3.5mを超える	☐	☐			0	
	平面形状	四角形		☐	☐			0	
	断面形状	ストレート	スリットが多い	☐	☐			0	
	配筋リスト	モチアミ式	トップ筋のある壁が多い	☐	☐			0	
	設備開口補	なし	設備開口補強が多い	☐	☐			0	
	そ の 他		鉄骨に制約される	☐	☐			0	
			特殊な工法の使用()	☐	☐	☐	☐	0	
そ の 他			☐	☐	☐	☐	0		
一 般 壁 集 計					0				
以下の全体項目については、全数量に対して直接「予定人区」を増減します									
全 体	工 期	通常工期	突貫工事、超突貫工事、長い工期			☐	☐	0	
	工 法	在来工法	逆打ち等()			☐	☐	0	
	作業環境	規制なし	時間制限、交通制限等()			☐	☐	0	
	その他			☐	☐	☐	☐	0	

注1: この調整表の調整比率集計が別表「歩掛かり表」に自動的に移動します

注2: 図面を見ながら、各項目毎に「標準」と比較して該当するチェック欄にチェックを入れる

注3: ハッチ部分  には入力しない

鉄筋工事の加工費歩掛計算表

(公社)全国鉄筋工事業協会

平成24年 6月22日作成

平成25年 8月26日訂正

工事名 0

前提条件

1. 加工は工場加工とする
2. 細径:D10~D16, 太径:D19~D51とする(カットサイズ明細書参照)
3. 組立の太径継ぎ手は圧接とする
4. 太径・細径別の数量を Kg 単位で入力してください
5. 普通作業員は使用しないこととする
6. 加工費の「補正歩掛」は、貴社の実情に合わせて変更してください
補正歩掛欄が計算対象になりますから、変更の有無にかかわらず必ず入力してください

工場加工費

基準歩掛は「建設省建築工事積算基準」(平成9年版)による

名称	単位	径別	積算基準による 基準歩掛	地域・会社別 補正歩掛	鉄筋数量(Kg)	予定人工
鉄筋工	人	太物	0.26 人／t	人／t	Kg	0.0 人
		細物	0.73 人／t	人／t	Kg	0.0 人
鉄筋工小計						0.0 人
普通作業員						
普通作業員小計						
合 計					0 Kg	0.0 人
工場管理費		(労) × (30～60%)				

加工予定歩掛	数量合計	#DIV/0! Kg/人
	予定加工人区合計	

* この加工予定歩掛は、見積書の「加工予定歩掛」欄に転記されます

* 工場管理費は、上記表を参照に各社で適正な管理比率を選択してください

0 の付帯工事明細書

***鉄筋工業株式会社

項 目	適 要	数 量	単位	単 価	金 額	その内の人件費	
						人件費割合	金額
記載例							
1. スリーブ補強	200φ 既製品材料	100	ヶ所	1,000	100,000		0
	取付手間	100	ヶ所	700	70,000	80%	56,000
					0		0
					0		0
					0		0
					0		0
					0		0
					0		0
					0		0
					0		0
					0		0
					0		0
					0		0
					0		0
					0		0
					0		0
					0		0
					0		0
					0		0
					0		0
					0		0
					0		0
					0		0
					0		0
					0		0
合 計					0		0

摘 要

1. スリーブ補強のヶ所数は実数精算とする。

注:1「その内の人件費」欄は、左欄の「金額」の内書きとする

注:2「金額」合計と、「その内の人件費」合計は見積書の「その他の付帯工事」に転記される

(公社)全国鉄筋工事業協会(2013年8月26日)

(公社)全国鉄筋工事業協会
平成24年11月22日作成
平成25年 8月26日訂正

分類	区分	項目	費用の詳細	工事原価配分方法
鉄筋組立費	直庸施工	組立人件費	直庸工の賃金、賞与、時間外手当	現場毎に直接配分
		組立現場経費	結束線、通勤費用、飲料代、職長会費、場内小運搬、機械工具、機械工具修繕費、	
		組立管理費	支給衣料、ヘルメット、安全帯、加工帳作成費、配筋検査費用、安全管理費、	基準を設けて配分
	外注依頼	組立人件費	下請契約に基づく取付費	現場毎に直接配分
		組立現場経費	一般的には、ほとんど上記契約内に含まれる 応援費会社負担分、労務費単価差額、職長会費、場内小運	
		組立管理費	防災協会費、安全大会負担金、研修費用、安全管理費 加工帳作成費用、配筋検査費用、現場打合せ費用、	基準を設けて配分
	スパーサーブロック		基本的に、材工共で金物を除くとしている 一般的に、外注依頼の場合は下請契約に含む	現場毎に直接配分
鉄筋加工費	自社工場	工場人件費	工場従業員の賃金、賞与、時間外手当、通勤費、福利厚生費、研修費、支給衣料、ヘルメット、安全帯	基準を設けて配分
		工場経費	工場敷地の地代、工場の家賃、固定資産税、減価償却費 機械償却費、機械リース料、修繕費、工具費、番線等 労災保険料、損害保険料、上乗せ保険、水道光熱費、通信費	
	他社依頼	加工経費	加工委託契約による委託費 一般的には、ほとんど上記委託費に含まれる 加工帳作成費、加工訂正費、追加加工費、 その他(具体的に:)	現場毎に直接配分
運搬費	自車運搬	運搬人件費	運転手・助手の賃金、賞与、時間外手当、通勤費、福利厚生費、研修費、支給衣料、ヘルメット、安全帯	基準を設けて配分
		運搬経費	車両償却費、車両リース料、修繕費、諸税、保険料、通信費 燃料、オイル類、ワイヤロープ、荷締め機、	
	他社依頼	運搬経費	運搬委託契約による委託費 一般的には、ほとんど上記委託費に含まれる 時間外割増、ワイヤロープ等の支給品、安全研修費、 その他(具体的に:)	現場毎に直接配分又は 基準を設けて配分
一般管理費	人件費 (役員,事務系,技術系)		役員報酬、社員給料、賞与、時間外手当、通勤費、福利厚生費、研修費、支給衣料、ヘルメット、安全帯	月間、又は年間の数 値を把握し、施工トン 数 又は施工金額に 対する 管理比率(%) を 決定する
	事務所等経費 (本社,支店,営業所等)		社屋の地代、家賃、建物償却費、固定資産税、損害保険料、 備品リース料、労災保険料、研修費用、計理士等の顧問料、 水道光熱費、事務用品費、通信費、交通費、振込料、諸会費 交際費、借入金金利、事業税等諸税、利益、 その他(具体的に:)	

注:1 この表は、東鉄協の「経費等に関するアンケート調査」を参考に作成しました。

注:2 鉄筋工事標準見積書作成時に、各項目の経費比率算定の資料として使用してください。

注:3 見積書作成時に各社の実情にあった項目を選んで○印を付けることで経費の実態が把握できます。

鉄筋組立費の「現場経費」・「現場管理費」の計算例

(公社) 全国鉄筋工事業協会

平成25年6月25日作成

平成25年8月26日改訂

鉄筋組立経費	組立現場経費	現場組立に直接掛かる費用 (工事毎に集計できる数値)	結束線	t当たり4k×130	520円/t	520	円	0	t	0	組立人件費 に対する割合	小数点以下 を切り上げる	
			通勤費	1人600円	600円/人	600	円	#DIV/0!	人	#DIV/0!			
			職長会費	1現場 5,000円×工期	5,000円/月	5,000	円		月	0			#DIV/0!
			機械工具	電動切断機等、修理代	10,000円	10,000	円		式	0			
			小計							#DIV/0!			#DIV/0!
	組立管理費	現場組立に間接的に掛かる費用 (年間施工数量で配分する) 年間施工数量 12,000tの場合	工務社員	3人平均年収600万円(経費込み)	3	人	6,000,000	円	18,000,000	1t当たりの 金額	取付単価に 対する割合		
			安全担当	1人平均年収500万円(経費込み)	1	人	5,000,000	円	5,000,000				
			支給品	70人、1人30,000円、	70	人	30,000	円	2,100,000				
			研修会等	70人、1人20,000円、	70	人	20,000	円	1,400,000				
			諸経費	車両費用、交通費、福利費、諸雑費等(上記4項目の10%)				2,650,000					
			小計							29,150,000	2,429	#DIV/0!	
年間施工高3万トンの場合 {10,000t/(一人歩掛600kg×年間稼働275日＝165t/人)÷60人} が必要													

一人の年間施工高計算 (一人の歩掛 **0.6** t × 年間稼働日数 **275** 日) = **165** t/人

貴社の年間施工高 **12,000** t の場合 ÷ **165** t/人 ÷ **70** 人が必要

注:この経費計算例は、会社規模、経営形態等で仮説の基で計算しておりますので、それぞれの企業規模、経営形態等に合わせて計算してください。

鉄筋材料費

工事名

0

	規格	鉄筋径	鉄筋数量(t)	単価	金額	摘要
					0	
					0	
					0	
					0	
					0	
					0	
					0	
					0	
					0	
ti					0	
					0	
					0	
					0	
					0	
					0	
					0	
					0	
					0	
					0	
					0	
					0	
					0	
					0	
					0	
					0	
					0	
					0	
					0	
					0	
合　計　金　額					0	

摘 要

東京都台東区浅草橋3-17-10

*****鉄筋工業株式会社

TEL ***-****-****

FAX ***-****-****

下記の通りお見積もり申し上げます

お見積金額		¥29,137,474						
工事名称		東京老人ホーム新築工事						
工事場所		東京都台東区浅草橋1-1-1						
工事期間		平成25年7月20日～12月20日						
支払条件		工事基本契約書による						
施工条件・範囲		別紙「鉄筋工事施工条件:範囲リスト」による						
項 目		適 要		数 量	単 位	単 価	金 額	
鉄筋材料費		別紙明細書の通り					0	
鉄筋組立費	組立人件費	取付予定歩掛	基礎日額	376.185	t	37,690	14,178,413	
		589 Kg/人	22,200					
	組立現場経費	組立作業に係る直接経費		5%			708,921	
	現場管理費	現場に係わる管理費		7%			992,489	
	スパーサーブロック	材料込み(金物は除く)		376.185	t	1,500	564,278	
鉄筋組立費小計							16,444,101	
鉄筋加工費	加工人件費	加工予定歩掛	基礎日額	376.185	t	9,170	3,449,616	
		1,744 Kg/人	16,000					
	工場経費	加工場に係る直接経費		30%			1,034,885	
鉄筋加工費小計							4,484,501	
運搬費	運搬人件費	車両人件費	単価(t)	40%	376.185	t	1,600	601,896
	運搬経費	車両諸経費	4,000	60%			2,400	902,844
	鉄筋運搬費小計							1,504,740
その他の付帯工事		別紙明細書の通り		(その内人件費 ※ 112,000)		300,000		
工事原価合計							22,733,342	
一般管理費		原価合計に係る販管費		10%		2,273,334		
小 計							25,006,676	
値 引 き							▲ 3,096	
再 小 計							25,003,580	
社会保険料 事業主負担分	保険項目	加入率	対象金額(人件費)※		百分率	保険料	※対象金額(人件費) ＝組立人件費＋加工人件費＋運搬人件費 ＋付帯工事人件費 * 介護保険対象の 40才～64才の割合は 52.3%(協会健保年報)	
	雇用保険	100%	18,341,925		1.050	192,590		
	健康保険	100%	18,341,925		4.985	914,345		
	厚生年金	100%	18,341,925		8.533	1,565,116		
	介護保険	52.3%	18,341,925		0.775	74,344		
社会保険料事業主負担合計							2,746,395	
工 事 費 合 計							27,749,975	
消 費 税		工事合計に対して		5%		1,387,499		
合 計							29,137,474	
摘要 スリーブ補強のヶ所数は実数精算とする								

(公社)全国鉄筋工事業協会 標準見積書 (2013年8月26日改訂)

凡例	他表からリンク	1t当りの単価(税、保険料、付帯工事別)	65,677
	計算式挿入	税、保険料込みの1t当りの単価	76,666
	手入力		

別紙:1

見積時・着工時打合せ事項(事例)

整 理 番 号		記入年月日		年 月 日		
1 得 意 先		***建設株式会社				
2 工 事 概 要	工事名	東京老人ホーム新築工事				
		住 所	電話番号	FAX番号		
	現場所在地	東京都台東区浅草橋1-1-1	()	()		
	事務所所在地		()	()		
	担 当 者	所長	主任	担当者		
	設 計 監 理					
	仕 様	共通仕様書 ・ 設計事務所 ・ その他()				
要	構造・規模	RC・SRC・S・壁式造 , 地下 F , 地上 F 建て 棟 建築面積 m ² 建築延面積 m ² (建築延面積当たりの鉄筋量)				
3 工 法		在来工法・特殊工法()				
4 鉄 筋 工 期		着 工 日		完 成 予 定 日		
		平成 年 月 日		平成 年 月 日		
5 材 料	材 料 手 配	材料共 ・ 支給材				
	材 質 ・ メーカー	鉄筋の材質と鉄筋経		メーカー指定		
		SD295 A ~		有() ・ 無		
		SD345 ~		有() ・ 無		
		SD390 ~		有() ・ 無		
		~		有() ・ 無		
6 作 業 条 件	休 日	日曜 ・ 祭日 ・ 土曜() ・ その他()				
	作 業 時 間	AM ~ PM ・ 朝礼 ・ 打合せ				
	通 勤 規 制	通勤車両時間 ・ 駐車場				
	搬 入 規 制	時間 ・ 経路 ・ 交通規制 ・ 車両制限				
	作業員詰所	有() ・ 無				
7 提 出 書 類	項 目	元 請	自 社	詳 細		
	安全衛生関係書類					
	施 工 要 領 書					
	鉄 筋 加 工 図					
	鋼 材 検 査 証					
	メタルタグ・納品書					
8 仮 設 計 画	そ の 他					
	揚 重 設 備	タワークレーン ・ レッカー ・ ユニック				
	水 平 移 動	タワークレーン ・ レッカー ・ ユニック				
	基 礎 足 場	梁受け 柱受け ・ ステージ				
	一般階足場	梁受け 柱用 ・ 壁用 ・ ステージ				
	鉄 骨 足 場	作業床 ・ 作業通路 ・ ステージ				
9 関 連 業 者	スツクヤード					
	職 種	会 社 名		担当者	担当班	職長名
	鳶・土工事					
	型 枠 工 事					
	圧 接 工 事					
	鉄 骨 工 事					

鉄筋工事 施工条件・範囲リスト (事例)

東京老人ホーム新築工事

名 称		範 囲	
		元請	自社
主材料	1. 鉄筋材料	☐	☐
		☐	☐
		☐	☐
補助材料	1. スペーサーブロック	☐	☐
	2. 床用ワイヤメッシュ筋	☐	☐
	3. 開口補強用ワイヤメッシュ筋	☐	☐
	4. スリーブ補強既製品 (別途見積)	☐	☐
	5. 特殊継ぎ手材料	☐	☐
	6. 仮設組立材 耐圧盤上筋受け	☐	☐
	7. 仮設組立材 基礎梁馬	☐	☐
	8. 仮設組立材 SRC梁馬	☐	☐
加工・取付	1. 鉄筋加工	☐	☐
	2. スパイラル筋加工	☐	☐
	3. 現場組立	☐	☐
	4. スペーサーブロック取付	☐	☐
	5. SRCスパイラル筋位置修正	☐	☐
	6. 床用ワイヤメッシュ配筋	☐	☐
	7. 開口補強用ワイヤメッシュ配筋	☐	☐
	8. スリーブ補強配筋 (別途見積)	☐	☐
	9. 鉄筋継手 圧接	☐	☐
	10. 鉄筋継手 溶接	☐	☐
	11. 鉄筋継手 機械式継手	☐	☐
	12. ダメ開口補強・配筋	☐	☐
	13. 打ち継ぎ補強配筋	☐	☐
	14. 杭頭補強配筋	☐	☐
	15. コンクリート打設中の立会い(一人)	☐	☐
	16. 差筋キャップ取付(材料支給)	☐	☐
	17. 設備基礎	☐	☐
	18. 外構工事	☐	☐
	19. 杭鉄筋調整	☐	☐
	20. SRC柱筋調整	☐	☐
	21. 特殊スラブ配筋	☐	☐
	22. アンボンド鋼線引込み手間	☐	☐
	23. ハーフPC梁・柱筋配筋	☐	☐
運搬	1. 荷揚(荷揚用機器への積込み、荷下ろし手間)	☐	☐
	2. 荷揚用機器(組立、解体、損料、使用料、オペレーター費用)	☐	☐
	3. 材料等の場内水平小運搬	☐	☐
	4. 材料等の現場搬入	☐	☐
	5. 支給材の工場内小運搬	☐	☐
	6. 貸与機械の有資格者の配置	☐	☐
足場	1. 鉄筋組立に使用する足場の架設	☐	☐
	2. 鉄筋組立に使用する構台の架設	☐	☐
	3. 鉄筋組立に使用する棧橋の架設	☐	☐
	4. 鉄筋組立に使用する梯子の架設	☐	☐
	5. ローリングタワー(組立、解体、移動)	☐	☐
	6. 足場等の盛替	☐	☐
	7. 高所作業車	☐	☐
墨出し		☐	☐
		☐	☐
		☐	☐

名 称		範 囲	
		元請	自社
養生	1. 支給材の保管	☐	☐
	2. 組立完了後の養生	☐	☐
片付	1. 建設廃棄物の場外搬出 処分に係る費用	☐	☐
	2. 梱包材・発生材の 場内指定場所への集積・分別	☐	☐
	3. 足場材等支給材の指定場所へ の片付け	☐	☐
	4. 作業終業後の片付・清掃	☐	☐
機器	1. 鉄筋組立用簡易足場材	☐	☐
	2. 揚重・高所作業用機器	☐	☐
	3. 揚重玉掛け用具	☐	☐
図面・書類	1. 鉄筋加工図(範囲: 基本部分)	☐	☐
	2. 施工要領書	☐	☐
見本		☐	☐
		☐	☐
検査・確認	1. 自主検査(頻度:各部位毎1回)	☐	☐
	2. 検査立会	☐	☐
安全		☐	☐
	1. 作業保護具	☐	☐
	2. 安全パトロール	☐	☐
その他	3. 揚重の合図・玉掛け	☐	☐
		☐	☐
	1. 作業時間(: ~ :)	☐	☐
	2. 休日作業	☐	☐
	3. 工事用電力・給水設備の使用料金	☐	☐
	4. 現場詰所・資材倉庫等仮設物	☐	☐
	5. 作業員通勤車両の駐車場使用料	☐	☐
別途協議・確認事項	6. 搬入車両規制	☐	☐
	7. 必要な場合の作業員宿舎	☐	☐
		☐	☐
		☐	☐
		☐	☐
		☐	☐
		☐	☐

*それぞれの項目毎に該当する欄にチェックを入れてください

建設生産システム合理化推進協議会 編集 (一部訂正)

(公社)全国鉄筋工事業協会
平成25年8月26日訂正

鉄筋工事部位別歩掛表 (事例)

(社)全国鉄筋工事業協会
平成10年2月10日作成
平成25年8月26日訂正

工事名 東京老人ホーム新築工事

部 位 名	数 量(kg)	現 場 組 立				
		全国平均 標準歩掛(kg)	地域・会社別 補正歩掛(kg)	難易度(%)	予定歩掛(kg)	予定人工(人)
ベ ー ス	3,617	600	650	0	650	5.6
耐 圧 版	3,928	750	800	0	800	4.9
基 礎 梁	27,281	650	700	0	700	39.0
基 礎 柱	4,778	650	700	0	700	6.8
地 下 外 壁	2,297	650	700	0	700	3.3
一 般 柱	35,019	670	700	0	700	50.0
一 般 壁	62,147	500	550	0	550	113.0
一 般 梁	92,453	600	650	0	650	142.2
一般小梁	23,688	550	600	0	600	39.5
ス ラ ブ	100,980	550	600	0	600	168.3
階 段	4,690	300	300		300	15.6
パラペット	4,053	300	300		300	13.5
雑配筋	11,254	300	300		300	37.5
数量合計	376,185					639.2
全体調整						
工期調整	376,185			0		0.0
工法調整	376,185			0		0.0
作業環境調整	376,185			0		0.0
その他の調整	376,185			0		0.0
合計						639 人

$$\text{総合予定歩掛(A)} = \frac{\text{数 量 合 計}}{\text{予定組立人工合計}} = 589 \text{ kg/人}$$

この歩掛り表の数字は、現場取付費
のみで、加工費、運搬費、一般管理費等
は含まれていません。

(公社)全国鉄筋工事業協会
平成10年2月20日作成
平成25年8月26日訂正

工事名 東京老人ホーム新築工事

部 位	項 目	標 準	条 件 変 化	調整比率(%)				
				-20	-10	+10	+20	計
ベ ー ス	ベース形状	四角形	三角形等の変形が多い	☐	☐			0
	ベース立上	立上げなし	フーチング有り	☐	☐			0
	ベース筋径	D13・D16	D10が60%以上を占める	☐	☐			0
			D19以上が60%以上を占める			☐	☐	0
ベ ー ス 集 計						0		
耐 圧 版	耐圧版径比	D13・D16	D19,D22が60%以上を占める			☐	☐	0
			D25,D29が60%以上を占める			☐	☐	0
			D32以上が60%以上を占める			☐	☐	0
	耐圧版断面	ハンチなし	ハンチ(法面)が多い	☐	☐			0
	そ の 他		鉄骨に制約される	☐	☐			0
			特殊な工法()	☐	☐	☐	☐	0
耐 圧 版 集 計						0		
基 礎 梁	平面形状	ストレート	水平ハンチの梁が多い	☐	☐			0
			垂直ハンチの梁が多い	☐	☐			0
			芯ずれの梁が多い	☐	☐			0
	断面形状	中子なし	中子のある梁が多い	☐	☐			0
	梁 成	1.8m以下	梁成が1.8mを超える	☐	☐			0
	梁主筋径	D25	梁主筋径が D22以下	☐	☐			0
			〃 D29			☐	☐	0
			〃 D32以上			☐	☐	0
	スタラップ径	D13	梁スタラップ径が D10	☐	☐			0
			〃 D16以上			☐	☐	0
	スタラップ形状	閉鎖型	開放型スタラップ			☐	☐	0
			分割型スタラップ			☐	☐	0
	そ の 他		鉄骨(柱・梁)に制限される	☐	☐			0
			そ の 他	☐	☐	☐	☐	0
基 礎 梁 集 計						0		
柱	階 高	3.5m以下	階高が3.5mを超える	☐	☐			0
	断面形状	中子なし	中子のあるフープが多い	☐	☐			0
	平面形状	ストレート	斜め柱が全体の 20%以下	☐	☐			0
			〃 20%を超え	☐	☐			0
	柱主筋径	D25	柱主筋径が D22以下	☐	☐			0
			〃 D29			☐	☐	0
			〃 D32以上			☐	☐	0
	フープ形状	在来型	スパイラルフープ	☐	☐	☐	☐	0
			閉鎖(溶接)型フープ	☐	☐	☐	☐	0
	フープ径	D13	柱フープ径が D10が多い	☐	☐			0
			〃 D16が多い			☐	☐	0
	主筋継ぎ手	ガス圧接	機械式継ぎ手(ネジ・グリップ等)	☐	☐	☐	☐	0
			溶接継ぎ手	☐	☐	☐	☐	0
	そ の 他		鉄骨(柱・梁)に制約される	☐	☐			0
			特殊な工法の使用()	☐	☐	☐	☐	0
			そ の 他	☐	☐	☐	☐	0
柱 集 計						0		

部 位	項 目	標 準	条 件 変 化	調整比率(%)
--------	-----	-----	---------	---------

位	要 因	標 準	不 行 要 因	-20	-10	+10	+20	計
一般階段梁	平面形状	ストレート	水平ハンチの梁が多い	☐	☐	☒	☒	0
			垂直ハンチの梁が多い	☐	☐	☒	☒	0
			芯ずれの梁が多い	☐	☐	☒	☒	0
	断面形状	中子なし	中子のある梁が多い	☐	☐	☒	☒	0
			梁 成	1.2m以下	梁成が1.2mを超える	☐	☐	☒
	梁主筋径	D25	梁主筋径が D22以下	☐	☐	☒	☒	0
			" D29	☒	☒	☐	☐	0
			" D32以上	☒	☒	☐	☐	0
	スタラップ形状	閉鎖型	在来型1本物	☐	☐	☐	☐	0
			溶接型	☐	☐	☐	☐	0
	スタラップ径	D13	梁スタラップ径で D10が多い	☐	☐	☒	☒	0
			" D16が多い	☒	☒	☐	☐	0
	主筋継ぎ手	ガス圧接	機械式継ぎ手(ネジ・グリップ等)	☐	☐	☐	☐	0
			溶接継ぎ手	☐	☐	☐	☐	0
	その他		鉄骨に制約される	☐	☐	☒	☒	0
特殊な工法の使用()			☐	☐	☐	☐	0	
その他			☐	☐	☐	☐	0	
一般階段梁集計						0		
スラブ	スラブ主筋径比	D10,D13 交互	主筋で D10 が 60%以上	☐	☐	☒	☒	0
			" D13 が 80%以上	☒	☒	☐	☐	0
			" D16が 60%以上	☒	☒	☐	☐	0
	平面形状	四角形	変形スラブが多い	☐	☐	☒	☒	0
	断面形状	ストレート	段差の有るスラブが多い	☐	☐	☒	☒	0
	配筋リスト	モチアミ式	トップ式、バンド式が多い	☐	☐	☒	☒	0
	設備開口補	なし	設備開口補強が多い	☐	☐	☒	☒	0
	その他		鉄骨に制約される	☐	☐	☒	☒	0
			特殊な工法の使用()	☐	☐	☐	☐	0
			その他	☐	☐	☐	☐	0
スラブ集計						0		
壁	壁主筋径比	D10,D13 交互	主筋で D10 が 60%以上	☐	☐	☒	☒	0
			" D13 が 80%以上	☒	☒	☐	☐	0
			" D16 が 60%以上	☒	☒	☐	☐	0
	階高	3.5m未満	階高が3.5mを超える	☐	☐	☒	☒	0
	平面形状	四角形		☐	☐	☒	☒	0
	断面形状	ストレート	スリットが多い	☐	☐	☒	☒	0
	配筋リスト	モチアミ式	トップ筋のある壁が多い	☐	☐	☒	☒	0
	設備開口補	なし	設備開口補強が多い	☐	☐	☒	☒	0
	その他		鉄骨に制約される	☐	☐	☒	☒	0
			特殊な工法の使用()	☐	☐	☐	☐	0
その他			☐	☐	☐	☐	0	
一般壁集計						0		
以下の全体項目については、全数量に対して直接「予定人工」を増減します								
全体	工期	通常工期	突貫工事、超突貫工事、長い工期	☒	☒	☐	☐	0
	工法	在来工法	逆打ち等()	☒	☒	☐	☐	0
	作業環境	規制なし	時間制限、交通制限等()	☒	☒	☐	☐	0
	その他			☐	☐	☐	☐	0

注1: この調整表の調整比率集計が別表「歩掛かり表」に自動的に移動します

注2: 図面を見ながら、各項目毎に「標準」と比較して該当するチェック欄にチェックを入れる

注3: ハッチ部分  には入力しない

注4: 調整比率が20%を超える場合は、10%、20%の両方にチェックを入れる(合計30%調整可能)
調整比率が30%を超える場合は、条件変化欄を複数行使って調整する

鉄筋工事の加工費歩掛計算表 (事例)

(公社)全国鉄筋工事業協会

平成24年 6月22日作成

平成25年 8月26日訂正

工事名 東京老人ホーム新築工事

前提条件

1. 加工は工場加工とする
2. 細径:D10~D16, 太径:D19~D51とする(カットサイズ明細書参照)
3. 組立の太径継ぎ手は圧接とする
4. 太径・細径別の数量を Kg 単位で入力してください
5. 普通作業員は使用しないこととする
6. 加工費の「補正歩掛」は、貴社の実情に合わせて変更してください
補正歩掛欄が計算対象になりますから、変更の有無にかかわらず必ず入力してください

工場加工費 基準歩掛は「建設省建築工事積算基準」(平成9年版)による

名称	単位	径別	積算基準による 基準歩掛	地域・会社別 補正歩掛	鉄筋数量(Kg)	予定人工
鉄筋加工	人	太物	0.26 人／t	0.26 人／t	125,303 Kg	32.6 人
		細物	0.73 人／t	0.73 人／t	250,881 Kg	183.1 人
鉄筋工小計						215.7 人
普通作業員						
普通作業員小計						
合 計					376,184 Kg	215.7 人
工場管理費		(労) × (30～60%)				

加工予定歩掛	=	数量合計 予定加工人工合計	=	1,744 Kg/人
--------	---	------------------	---	------------

* この加工予定歩掛は、見積書の「加工予定歩掛」欄に転記されます

* 工場管理費は、上記表を参照に各社で適正な管理比率を選択してください

工事名称 東京老人ホーム新築工事 の付帯工事明細書 (事例)

* * * 鉄筋工業株式会社

項 目	適 要	数 量	単位	単 価	金 額	その内の人件費	
						人件費割合	金額
記載例							
1. スリーブ補強	200φ 既製品材料	100	ヶ所	1,000	100,000		0
	取付手間	100	ヶ所	700	70,000	80%	56,000
1. スリーブ補強	200φ 既製品材料	200	ヶ所	800	160,000		0
	取付手間	200	ヶ所	700	140,000	80%	112,000
					0		0
					0		0
					0		0
					0		0
					0		0
					0		0
					0		0
					0		0
					0		0
					0		0
					0		0
					0		0
					0		0
					0		0
					0		0
					0		0
					0		0
					0		0
					0		0
					0		0
					0		0
					0		0
					0		0
合 計					300,000		112,000
摘 要 1. スリーブ補強のヶ所数は実数精算とする。							

注:1 「その内の人件費」欄は、左欄の「金額」の内書きとする

注:2 「金額」合計と、「その内の人件費」合計は見積書の「その他の付帯工事」に転記される

(公社)全国鉄筋工事業協会(2013年8月26日)

分類	区分	項目	費用の詳細	工事原価配分方法
鉄筋組立費	直庸施工	組立人件費	直庸工の賃金、賞与、時間外手当	現場毎に直接配分
		組立現場経費	結束線、通勤費用、飲料代、職長会費、場内小運搬、機械工具、機械工具修繕費、	
		組立管理費	支給衣料、ヘルメット、安全帯、加工帳作成費、配筋検査費用、安全管理費、	基準を設けて配分
	外注依頼	組立人件費	下請契約に基づく取付費	現場毎に直接配分
		組立現場経費	一般的には、ほとんど上記契約内に含まれる 応援費会社負担分、労務費単価差額、職長会費、場内小運	
		組立管理費	防災協会費、安全大会負担金、研修費用、安全管理費 加工帳作成費用、配筋検査費用、現場打合せ費用、	基準を設けて配分
	スパーサーブロック		基本的に、材工共で金物を除くとしている 一般的に、外注依頼の場合は下請契約に含む	現場毎に直接配分
鉄筋加工費	自社工場	工場人件費	工場従業員の賃金、賞与、時間外手当、通勤費、福利厚生費、研修費、支給衣料、ヘルメット、安全帯	基準を設けて配分
		工場経費	工場敷地の地代、工場の家賃、固定資産税、減価償却費 機械償却費、機械リース料、修繕費、工具費、番線等 労災保険料、損害保険料、上乗せ保険、水道光熱費、通信費	
	他社依頼	加工経費	加工委託契約による委託費 一般的には、ほとんど上記委託費に含まれる 加工帳作成費、加工訂正費、追加加工費、 その他(具体的に:)	現場毎に直接配分
運搬費	自車運搬	運搬人件費	運転手・助手の賃金、賞与、時間外手当、通勤費、福利厚生費、研修費、支給衣料、ヘルメット、安全帯	基準を設けて配分
		運搬経費	車両償却費、車両リース料、修繕費、諸税、保険料、通信費 燃料、オイル類、ワイヤロープ、荷締め機、	
	他社依頼	運搬経費	運搬委託契約による委託費 一般的には、ほとんど上記委託費に含まれる 時間外割増、ワイヤロープ等の支給品、安全研修費、 その他(具体的に:)	現場毎に直接配分又は 基準を設けて配分
一般管理費	人件費 (役員,事務系,技術系)		役員報酬、社員給料、賞与、時間外手当、通勤費、福利厚生費、研修費、支給衣料、ヘルメット、安全帯	月間、又は年間の数 値を把握し、施工トン 数 又は施工金額に 対する 管理比率(%) を 決定する
	事務所等経費 (本社,支店,営業所等)		社屋の地代、家賃、建物償却費、固定資産税、損害保険料、 備品リース料、労災保険料、研修費用、計理士等の顧問料、 水道光熱費、事務用品費、通信費、交通費、振込料、諸会費 交際費、借入金金利、事業税等諸税、利益、 その他(具体的に:)	

注:1 この表は、東鉄協の「経費等に関するアンケート調査」を参考に作成しました。

注:2 鉄筋工事標準見積書作成時に、各項目の経費比率算定の資料として使用してください。

注:3 見積書作成時に各社の実情にあった項目を選んで○印を付けることで経費の実態が把握できます。

別紙:8

鉄筋組立費の「現場経費」・「現場管理費」の計算例 (事例)

(公社) 全国鉄筋工事業協会
平成25年6月25日作成
平成25年8月26日改訂

鉄筋組立経費	組立現場経費	現場組立に直接掛かる費用 (工事毎に集計できる数値)	結束線	t当たり4k×130	520円/t	520	円	376	t	195,616	組立人件費 14,178,413	
			通勤費	1人600円	600円/人	600	円	639	人	383,400		
			職長会費	1現場 5,000円×工期	5,000円/月	5,000	円	8	月	40,000		
			機械工具	電動切断機等、修理代	10,000円	10,000	円	1	式	10,000		
			小計							629,016		5%
	組立管理費	現場組立に間接的に掛かる費用 (年間施工数量で配分する) 年間施工数量12,000tの場合	工務社員	3人平均年収600万円(経費込み)		3	人	6,000,000	円	18,000,000	1t当たりの金額	トン単価に対する割合
			安全担当	1人平均年収500万円(経費込み)		1	人	5,000,000	円	5,000,000		
			支給品	70人、1人30,000円、		70	人	30,000	円	2,100,000		取付単価
			研修会等	70人、1人20,000円、		70	人	20,000	円	1,400,000		
			諸経費	車両費用、交通費、福利費、諸雑費等(上記4項目の10%)						2,650,000		
			小計							29,150,000	2,429	7%
	年間施工高3万トンの場合 {10,000t/(一人歩掛600kg×年間稼働275日＝165t/人)÷60人} が必要											

一人の年間施工高計算 (一人の歩掛 0.6 t × 年間稼働日数 275 日) = 165 t/人

貴社の年間施工高 12,000 t の場合 ÷ 165 t/人 ÷ 70 人が必要

注:この経費計算例は、会社規模、経営形態等で仮説の基で計算しておりますので、それぞれの企業規模、経営形態等に合わせて計算してください。

鉄筋材料費

工 事 名 東京老人ホ一ム新築工事

[illegible]

摘 要

お 見 積 書 (解 説)

平成25年8月26日

***建設株式会社 殿

東京都台東区浅草橋3-17-10
***鉄筋工業株式会社
TEL **-****-****
FAX **-****-****

公共工事設計労務単価表を参照し入力する
(社会保険料個人負担分は含まれる)

下記の通りお見積もり申し上げます

【別紙3. 鉄筋工事部位別歩掛表】

総合予定歩掛(A)がリンクされている
(数量合計÷予定組立人工合計)

別紙7. 8. を参考に割合を決める

【別紙5. 加工費の歩掛計算書】

当該工事の太物数量と細物数量を入力すると、加工費の歩
掛が算出されてリンクされる

【別紙5の工場管理費欄を参照】

加工場に係る直接経費は、会社の経営形態等により比率にバラ
ツキがあり、会社個々に検討を要する。
設備により人件費と経費の関係が変化する

単価は、運搬条件によって決める。
車両人件費と車両経費は、それぞれの会社で決める。

原価合計に係る販管費は、会社の経営形態等により比率に
バラツキがあり、会社個々に検討を要する。

お見積金額		¥0		
工事名称				
工事場所				
工事期間		(全工期では鉄筋工事の工期を記入)		
支払条件		工事基本契約書による		
施工条件・範囲		別紙「鉄筋工事施工条件・範囲リスト」による		
項目	適 要	数 量	単 価	金 額
鉄筋材料費				
鉄筋	①組立人件費	取得予定歩掛	基礎日額	0.000
組立現場経費	組立作業に係る直接経費	割合(%)		
現場管理費	現場に係わる管理費	割合(%)		
スペーサーブロック	材料込み(金物は除く)	0.000	t	
鉄筋組立費小計				
鉄筋加工費	②加工人件費	加工予定歩掛	基礎日額	0.000
工場経費	加工場に係る直接経費	割合(%)		
鉄筋加工費小計				
運搬費	③運搬人件費	車両人件費	単価(t)	割合(%)
運搬経費	車両諸経費	割合(%)	0.000	t
鉄筋運搬費小計				
その他の付帯工事		別紙明細書の通り		(その内人件費 ④)
工事原価合計				
一般管理費	原価合計に係る販管費	割合(%)		
小 計				
値 引 き				
再 小 計				
社会保険料 事業主負担分	保険項目	加入率	対象金額(人件費)	百分率
	雇用保険	100%	①+②+③+④	1.050
	健康保険	100%	〃	4.985
	厚生年金	100%	〃	8.533
	介護保険	52.3%	〃	0.775
社会保険料事業主負担合計				
工 事 費 合 計				
消 費 税	工事合計に対して			
合 計				
摘要				

* 介護保険の対象である40歳以上64歳以下の割合52.3%(協会けんぽ平成23年度事業年報)を介護保険料率に乗じた比率とする。

(公社)全国鉄筋工事業協会 標準見積書 (2013年8月26日改訂)

凡 例	他表からリンク
	計算式挿入
	手入力

1t当りの単価(税、保険料、付帯工事別)	
税、保険料込みの1t当りの単価	

金額計算の基本は乗算の結果、小数
点以下を四捨五入している

基礎日額÷予定歩掛(kg)×1,000=単価
(10円未満切り捨て)

← 数量×単価

← (数量×単価)×組立作業に係る直接経費(割合)

← (数量×単価)×現場に係わる管理費(割合)

← (数量×単価)

基礎日額÷予定歩掛(kg)×加工比率×1,000=単価

← 加工人件費×加工場に係る直接経費(割合)

運搬費単価(t)×人件費割合(%)

運搬費単価(t)×運車両諸経費割合(%)

施工条件・範囲リストにより、付帯工事に計上する物は、別紙6. 付帯工事明細書に
列記し、それぞれの項目毎に人件費とその他の費用に分類し、人件費の合計金額を
本欄()内に記入すれば、保険料対象金額に加算される

工事原価合計×原価合計に係る割合(%)

①組立人件費+②加工人件費+③運搬人件費+④付帯工事人件費

各保険料(対象人件費×百分率×加入率)

組立小計+加工費小計+運搬費小計+原価合計に係る販管費

鉄 筋 総 数 量

組立小計+加工費小計+運搬費小計+原価合計に係る販管費+社会保険料事業主負担金額+消費税

鉄 筋 総 数 量